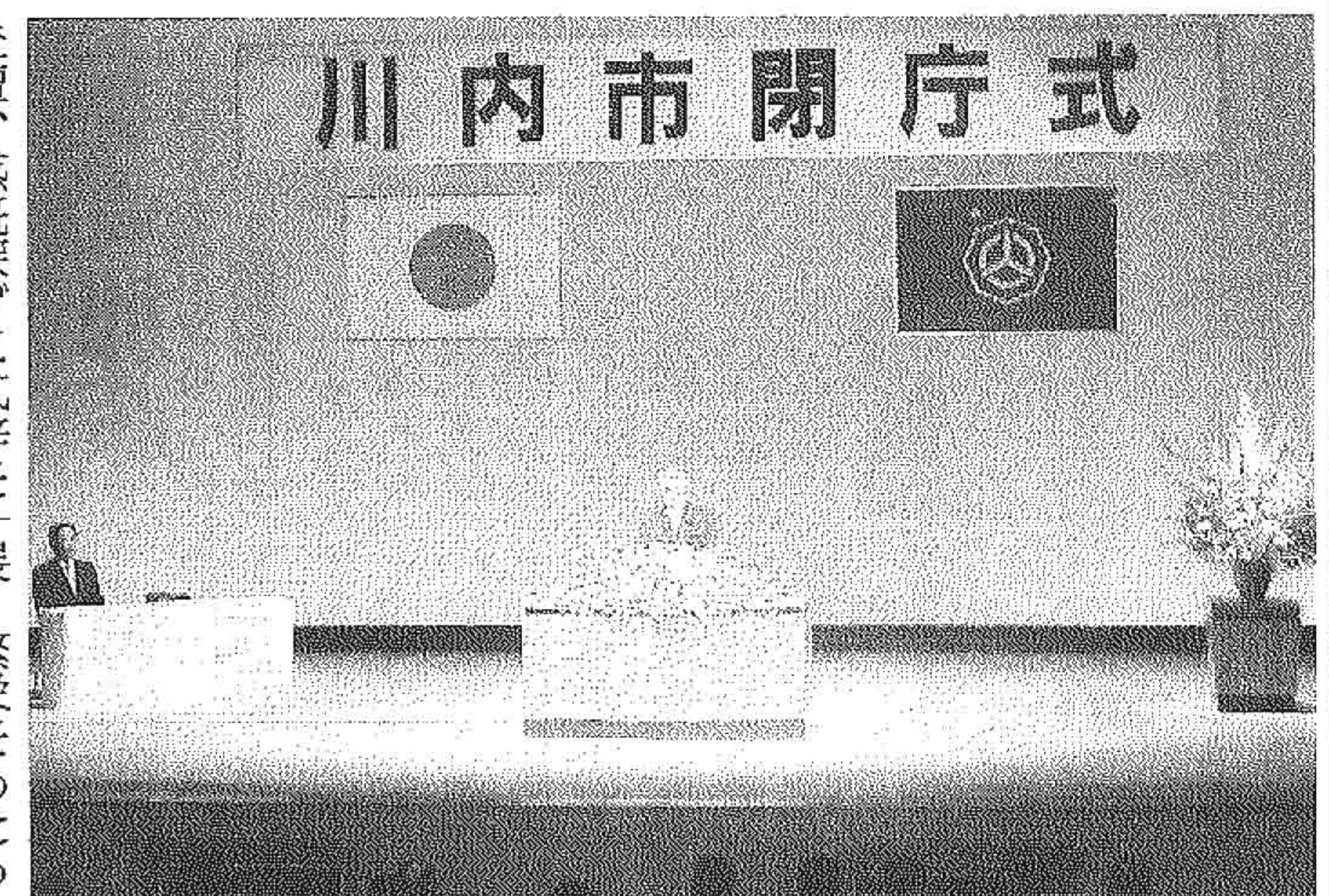


64年の川内市制に幕閉じる

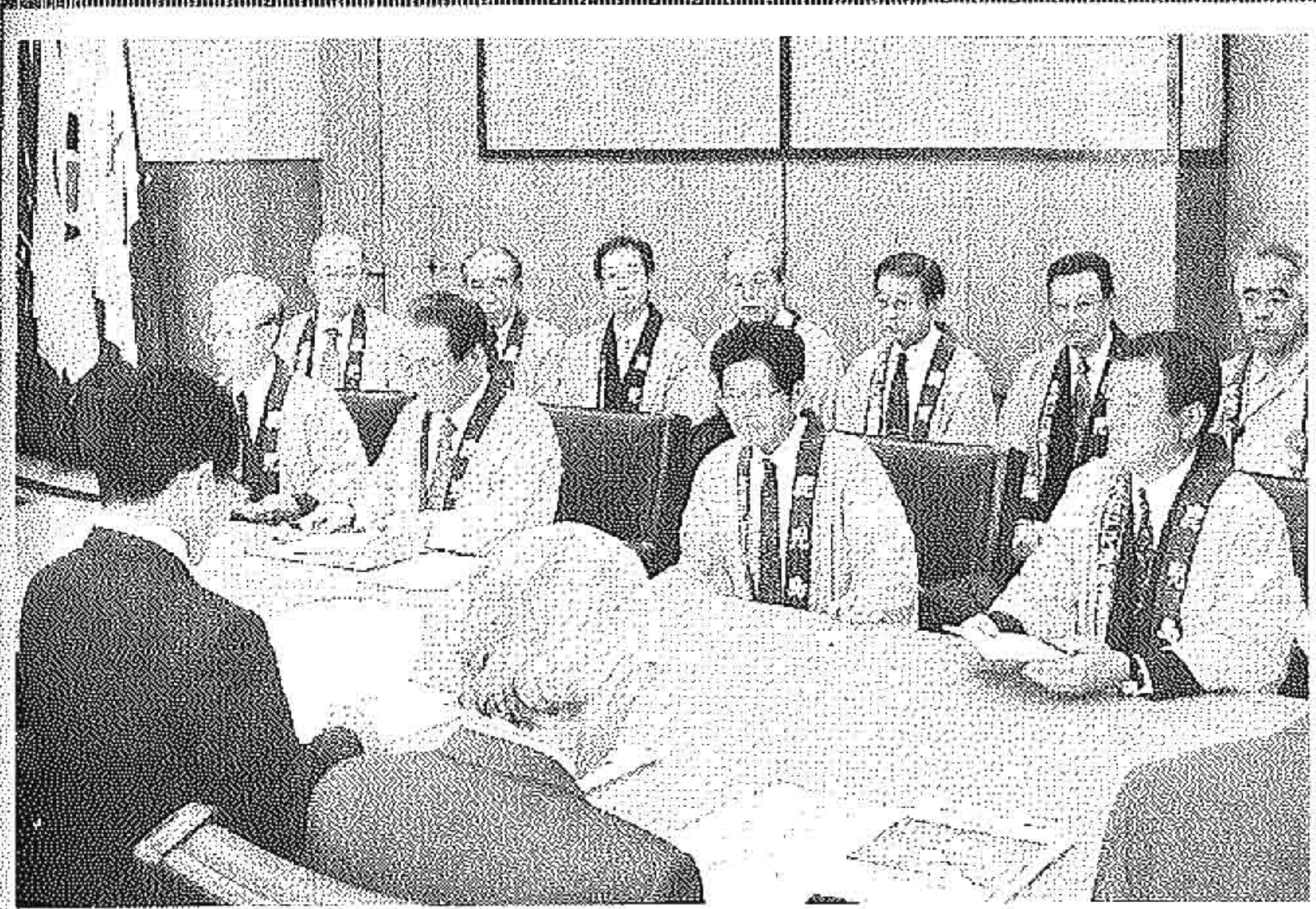
12日、県内先駆け薩摩川内市



式辞を述べる森市長
＝川内市の市民会館大ホールで

川内市（森卓朗市長）は8日、川内市の市民会館大ホールで歴代関係者や行政機関、市職員ら約450人が出席して閉庁式を行った。

「川内市の歩みの」ビデオ上映の後、最後の川内市長となった森市長が壇上、感慨深げに式辞を述べた。「市制64年の永い歴史に幕を閉じ、平成の大合併で薩摩川内市に生まれ変わることにした」と述べ、「本市は昭和4年5月『大川内建設構想の下、近隣の3村合併で誕生した川内町が端緒であった』と年次ごとに当時の歴史を振り返りながら『今日の本市の発展・繁栄をもたらしたものは、歴史の諸先輩の努力の賜物（たまもの）にほかならない。深く敬意を表する。50年に一度あるかどうかの合併であるが、スケールメリットを最大限生かして発展・繁栄を築いていかなければならない。また、海を越えた、全国的にも極めて稀（まれ）な市町村合併



木材需要の拡大を訴える陳情団
＝鹿児島市の県庁知事室で

県木材利用推進運動協議会等 県に
木材需要の拡大訴える

県木材利用推進運動協議会（横小路喜代治会長）と県木材協会連合会（同）は、「木の日の10月8日、鹿児島市の県庁知事室を訪れ、伊藤祐一郎知事ら県当局に対して公共施設の木材造化、地域材の品質確保対策の推進など木材需要の拡大を訴えた。

陳情団は、県木材協会連合会の横小路喜代治会長や増留貴朗副会長ら13人で構成。県側は伊藤知事、諏訪弘美林務水産部長、山下孝志土木部建築技監らが応じた。

知事室では、児玉篤臣県木材協会連合会専務理事らが木材産業の需要不振や材価低迷の現状を述べた上で、要望書の内容として①



「薩摩川内市誕生まであと4日」の8日、川内市、樋脇町、東郷町、入来町、祁答院町、里村、上甕村、下甕村、鹿島村の1市4町4村は市町村旗降納等の閉庁式を行い、

でもあり、未知な領域に踏み出すことにもなる。しかしながら、本市がこれまで培ってきた歴史と新市10万5000人の英知を結集するならば、光り輝く未来として発展・繁栄が築かれるものと確信する」と述べた。

式典では、最後の市議

12日新入札規定運用開始

予定価格公表も全支所

「薩摩川内市誕生まであと4日」の8日、川内市、樋脇町、東郷町、入来町、祁答院町、里村、上甕村、下甕村、鹿島村の1市4町4村は市町村旗降納等の閉庁式を行い、

住民参画のまちづくりを考えようと、県地方自治研究所（平井一臣理事長）主催の第99回定例研究会が8日、鹿児島市のマリンパレスかごしまで開かれ「公共事業とこれからのまちづくり」をテーマにパネルディスカッションを行い、法政大

「薩摩川内市誕生まであと4日」市内では準備に忙しい東郷町の役場で

会議長となった今別府哲矢市議会議長の挨拶や市民歌斉唱もあり、最後に市旗を降納をして、64年の市制に幕を閉じた。

県地方自治研究所が研究会
まちづくりで事例等



提案する陶山賢治キャスター
＝鹿児島市のマリンパレスかごしまで

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で

鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

「公共事業の必要性と移行期の困難やその可能性と限界を提起。国や自治体の政策転換として、財政

県大規模小売店舗立地審議会

ニシムタ店など承認

第26回県大規模小売店舗立地審議会（会長・宮廻南允鹿児島大学教授）は8日、鹿児島市の県庁で開き、スーパードラッグコスモス鹿屋共栄店（鹿屋市）など14件の届出概要の説明が行われたほか、スーパーセンターニシムタ大口店やマックスバリュ寿3丁目店の新設など各6件を承認した。

審議会では、宮廻会

建設業の詳しい情報は...
無料体験実施中

<http://www.kc-news.co.jp>

業者格付・県・市町村予算・
発注予定工事等々
情報は盛りだくさん！

お問い合わせ：
099-222-6123